

第2号様式(第10条関係)

令和 4年 4月 22日

沖縄県議会議長 殿

沖縄県議会議員 大城 憲幸



令和3年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

## 令和3年度 政務活動費収支報告書

議員名 大城 憲幸

1 収 入 政務活動費 1,800,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	26,170	交通/宿泊費
研 修 費		
広聴広報費	188,151	議会報告書作成費、通信運搬費、
要請陳情等 活 動 費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
事 務 所 費	621,596	事務所賃借料 水道・電気料・NHK受信料
事 務 費	367,700	Surfaceリース料金、プロバイダー料金、固定電話料金、 携帯電話代
人 件 費	601,800	給与、労災保険
合 計	1,805,417	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 0 円



参考様式-①

経費区分(調査研究費)

- ・交通/宿泊費(那覇~鹿児島)
- ・用務日程:令和3年3月31日(水)~4月1日(木)
- ・場 所:鹿児島県
- ・用務内容:別紙視察調査報告書の通り
- ・充当割合5/10 説明:政務活動以外の日程が含まれているため、4月1日分のみ充当。
- ・充当金額:26,170円

お問合せNo. : 0001734961

ReceiptNo. : 1005 - 0041148

RECEIPT  
領収書

発行日 : 2021年04月06日

材田 川幸 様

金種 : 

¥ 52,340-

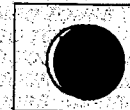
THE ABOVE MENTIONED AMOUNT HAS BEEN DULY RECEIVED  
上記の金額正に領収致しました。

航空券代及び宿泊代として



株式会社ジャンボツアーズ 本社/営業  
〒900-0015 沖縄県 那覇市 久茂地 2丁目5-10  
久茂地BKビル

発行担当者 米須 英里



【領収印無きもの及び金額訂正したものは無効です】

## 視察調査報告書

経費区分	視察調査費			
年月日	令和3年3月31日(水)~4月1日(木)			
場所	鹿児島県			
相手方	山中貞則後援会 国土交通省鹿児島国道事務所 鈴木淳所長 他 九州防衛局種子島連絡事務所 池田学所長 他			
目的	山中貞則氏生誕100周年お墓参り 国道58号線の歴史 馬毛島自衛隊施設の整備計画			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	3月31日(水)	8時~9時30分	那覇~鹿児島	移動
	"	11時~14時	鹿児島県曾於市	山中貞則氏顕彰館視察 / お墓参り
	4月1日(木)	10時~11時30分	西郷銅像前交差点	国道58号線の起点地視察と歴史
	"	12時~13時	防衛省鹿児島地方協力本部	国が整備を進める馬毛島施設の進捗と計画
	"	18時~19時30分	鹿児島~那覇	移動
内容	<p>1. 国道58号線の起点である鹿児島市内を起点から海までの道路700mを視察、国土交通省九州整備局鹿児島国道事務所から説明を受けた。 鹿児島市から海上を渡り種子島、奄美大島を経由して沖縄県那覇市(明治橋)まで全長約880kmうち陸上は250kmと約7割が海上という国道。</p> <p>2. 当初、馬毛島の視察を予定していたが、天候が悪く市内の防衛省鹿児島地方協力本部で説明を受ける事とした。馬毛島の基地整備について、現在購入手続きを済ませ環境アセスメントを行っている。 その後、島全体を整備し二本の滑走路、棧橋や揚陸施設、格納庫や訓練施設の整備建設工事は概ね4年程度の工期を想定している。 馬毛島基地には150~200名の自衛隊員が常駐し、米軍の米空母艦載機の着陸訓練も実施予定。</p>			
成果及び所見	<p>1. 説明の中で、全体の約7割が海上という国道である事、当時の国道が百番台の指定だったが、関係者のこだわりにより二桁の58号になった事等、異例尽くめの指定であった事が分かった。復帰50年を迎える我が沖縄、琉球政府時代に主要幹線道路であった軍道を国道58号と指定した際の、歴史や関係者の想いを再認識し県民に周知する事も必要と考える。</p> <p>2. 馬毛島の軍事利用については、これまでも幾度も話題となり、民主党鳩山政権下では普天間基地の代替え施設として検討されたとの報道もあった。しかし、これまで具体的な進展はなかったが、今回は国による現地調査を済ませ、正式に環境アセスメント手続きに入った。 国は馬毛島自衛隊施設の必要性を ①陸海空自衛隊が訓練・活動を行い得る施設 ②整備補給等後方支援における活動を行い得る施設 ③米空母艦載機の着陸訓練(FCLP)の施設と3点としており、現時点で沖縄の負担軽減の項目は見当たらない。 地元住民、自治体の理解と協力も不可欠であり、現時点で沖縄側の過度な期待は慎重にあるべきだが、住宅地から10km以上離れた無人島に現在沖縄で行っている米軍訓練の殆どが実施できる機能を備えた基地施設の整備が進んでおり、沖縄側でどう負担軽減に繋げるか議論を深める必要がある。</p>			
備考	大城 憲幸			

## 経費区分別支出一覧表

経費区分            広聴広報費

日付	使 途 内 容	支 出 額	充 当 割 合	充 当 額
5/2	通信運搬費	51,156	98.3/100	50,286
5/6	議会活動報告書Vol. 7作成費	140,250	98.3/100	137,865
A. 小計				188,151
B. 支払証明書計				
広聴広報費 充当合計				188,151

経費区分 (広聴広報費)

①・通信運搬費

・充当割合：98.3/100 (理由：議会活動報告会だより郵送代のため)

・充当額：51,156円

領収書

大城 寛幸 様

[別納引受]		
区内特別特(定)BC	15.5g	
@70 330通	¥23,100	
小計	¥23,100	
第一種定形	15.5g	
@84 334通	¥28,056	
小計	¥28,056	
郵便物引受合計通数	664通	
課税計(10%)	¥51,156	
(内消費税等)	¥4,650	
非課税計	¥0	

合計	¥51,156
お預り金額	¥52,000
おつり	¥844



〒100-8792 日本郵便株式会社  
東京都千代田区大手町2-3-1  
取扱日時：2021年 5月 2日 11:38  
担当：[REDACTED]  
発行No. 210502A0589 端P04箱70  
連絡先：南風原中郵便局  
TEL:0570-943-950

経費区分 (広聴広報費)

- ① ・ 議会活動報告書作成費Vol.7 (議会活動報告日より)
- ・ 充当割合 : 98.3/100 (説明 : 別途、広報紙充当確認票添付)
- ・ 充当金額 : 137,865円

**領 収 証**

No 000381

領収日 令和 3 年 5 月 6 日

大城 憲幸 様

印刷全般

有限会社 アイドマ印刷

下記の通り領収致しました

代表取締役 座嘉比

〒902-0073 沖縄県那覇市字上原2-1-13

電話 (098) 833-1122

FAX (098) 833-1144

合計金額 ￥ 140,250-

品 名	数 量	単 価	金 額
大城のりキ	1500部	850	127500
議会活動報告書(F.8)1冊			



受領者	備考	小 計	127500
		消費税	12750
		合 計	140250



# 広報紙充当可能割合確認票

議員名

大城 憲幸

広報紙名	紙面割合
議会便り 第1号	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体面積: <math>29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 2\text{面} = 1247.4\text{cm}^2</math></li> <li>●充当対象外記事: 面積計 = <math>21.2\text{cm}^2</math></li> <li>① <math>4.5\text{cm} \times 4.7\text{cm} = 21.2\text{cm}^2</math></li> <li>●充当可能割合: <math>1 - (21.2\text{cm}^2 / 1247.4\text{cm}^2) = 0.983 \approx 98.3/100</math>以下</li> </ul>



次世代を担う子どもたちのために!

# 大城ノリユキ

議会活動  
報告だより

Vol.7

○ 沖縄県議会  
議員

R3年4月挨拶

## お陰様で議員活動20年

コロナとの戦いも2年目となる中、県は4回目の営業自粛を県民にお願いし、この間失われた経済損失は観光関連だけで5千億円近くになります。

県民が頑張っても感染を収束させても、経済活動を再開すると感染が蔓延するの繰り返しで、結局第4波となってしまいました。

県民生活や県経済への影響も広がり、特に弱い立場の人たちを追い詰め、観光を中心に関連産業の状況は深刻さを増しています。

感染対策と経済対策の両立は非常に困難な課題ですが、他県と比較しても本県のこれまでの取組みは失敗したと評価せざるを得ません。私を含め、県政に関わる者の責任の重さを再認識する必要があります。

さて、令和3年は10年毎に見直される復帰特別措置、沖縄振興策の最終年度となる為、関係団体と議論を重ねています。

50年続くこの制度は、本県各産業や市町村事業の負担軽減、電気やガソリン等県民生活の負担軽減に大きく貢献してきましたが、その期限を目前に関係者の危機意識が弱いと感じます。ましてや国はコロナ禍で財政的・政治的にも余裕は無い状況で、沖縄の特別扱いは当然いつまでも国が何とかしてくれるとの考えでは、県民生活や県経済を守れないと危惧しております。

そんな日々の活動も今年で20年目となりました。大里村議、南城市議、そして県議と多くの皆さんに支えられながらの活動でした。昨年日本維新の会から無所属となり、少数会派2人での活動は、与党野党に分かれた旧態依然とした県議会において、提案しても通らない、賛同議員が集まらず提案すらできない事も多く、歯痒い思いの日々です。

しかし、私の政治信条である是々非々の政治、提案する政治にこだわり今年度も元気に頑張ってお参ります。



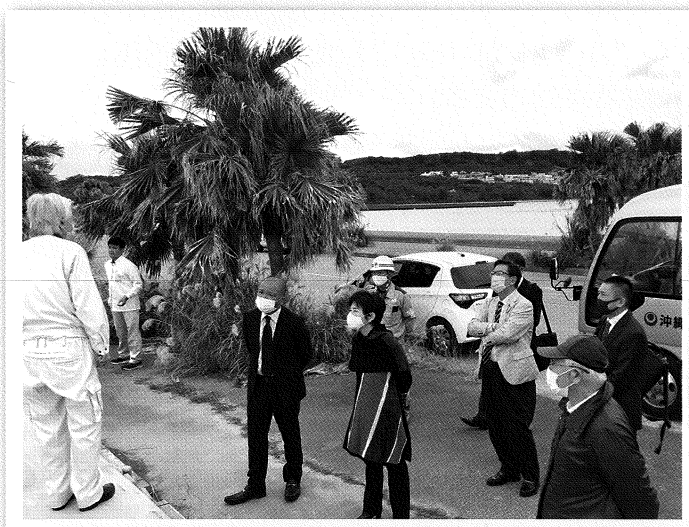
コロナ対策強化!条例を提案

所属委員会

- 経済労働委員会副委員長
- 新沖縄振興・公共交通ネットワーク特別委員会委員
- 議会改革推進会議委員



那覇空港診療所の検討



経済労働委員会県内視察